



私は、学校の違いについて調べました。

まず初めに、ニュージーランドの学校は、私の日本の学校よりもとても大きいと思いました。でも、学校はとても大きいのに、自分の教室がないことや、科目によって教室が変わることも驚きました。授業時間は日本より短く、1時間目が始まる時間も遅かったです。教科ごとに先生が変わるのは同じでした。



先生の教え方については、日本では授業のはじめに「今日のめあて」を言ってから始めますが、ニュージーランドでは、日本語の授業はそうでしたが、他の科目は違っていました。



授業中は、自由に意見を言い合うこともあります。



パソコンを使う機会も多かったです。

2時間目と3時間目の間には、長めの休憩時間がありました。ちょっとお腹がすくので、友達とおやつ（リンゴ等の果物やグラノーラバーなど）を食べながら話をしました。

昼食は、中庭のベンチで食べている人が多かったです。給食ではなく、家から持ってきたものか、学校の売店で買ったものを食べていました。学校に食べ物を売っている場所があることも驚きました。そこで私はカップヌードルを買って食べました。お湯も入っていて、すぐに食べることが出来ました。味はとてもおいしかったです。

校則については、制服や靴は日本と同じようにみんな一緒でした。でも、日本と違ってピアスやネックレスが許可されていました。

学校には、大きな図書館や体育館がありました。



運動場は土ではなく、全天候型でした。体育の時は、男女混合でドッジボールのような球技をしました。



学校の地区は、日本に比べてとても広いと思いました。ずいぶん遠くから通っている生徒もいました。自然が多く家が点在しているので、学区も広くなるのかなと思いました。

今回ニュージーランドの学校に行ってみて、日本よりも自由だと感じました。日本でも、昼食の前にティータイムのようなちょっとした休憩時間があったらいいなと思います。

細かい部分では色々と違いもあったけれど、日本とニュージーランドどちらの学校も同じように、数学や外国語の勉強をしたり、体育の授業をしたりしていました。国や文化に関わらず、学校の目的は同じだと思いました。学校が何のためにあるのか考える良い機会になりました。